



明科中川手
波場 三郎さん

明科駅周辺の再開発、区画整理計画について発言しました。合併して停滞していると感じますが、地域の皆さんの前向きな声も多くあります。今後調査を行うなど、具体的に考えていたきたいと思います。

その他の意見

1. インターバル^歩速歩
2. 公共交通機関
3. 老人福祉施設
4. 住民提案の窓口
5. 過疎と高齢化
6. 農地の荒廃
7. 潮沢廃線敷地のケヤキ
8. 市の財政状況
9. からす被害
10. 教育問題
11. 総合計画アンケート など

特集◎市長と語る会ダイジェスト

3 日目は11月27日、明科公民館講堂で開催され、144人が参加しました。

資材支給制度

意見 明科の「資材支給制度」を全市的に普及させたらどうか（資材支給制度＝原材料を地域に配布し、工事は住民の手により行われる事業）

市長 地域でできることは地域でということだが、これから協働の成果として現れればと思う。素晴らしいご提案で、担当部と打ち合わせする中で、できるだけ期待に沿える施策として対応したい。

総合支所長

意見 総合支所長は、権限・決裁権などが大変限られていると聞いた。市民サービスに直結する総合支所の長であるので、そのような部分は即決裁できるようにお願いしたい。

市長 支所長は助役級で、地域の声を集める大切な役であると言っているが、権限についてうまくいっていない部分もあり、見直しをしている。予算編成時も地域事業について提案がされるべきであり、支所長の力は大変大事だと考えている。もう少し、時間をいただきたい。

駅周辺整備

意見 明科駅は市の東の玄関口として重要で、周辺整備は旧明科町のころから計画があったが、市となっても進めてほしい。

市長 今までの経過については聞いている。明科駅の重要性もご意見のとおりだと思う。駅周辺整備は、相当な財源と国や県の支援などあらゆるものを投入する必要がある。また、何より地権者の皆さんのご理解を得ないと進展しない難しい事業。大事業であるので、庁内でどたいを築けるものは築いて、支援とご理解をいただく方向で進めたい。

11/28

19:00~21:20

穂高地域
参加者136人



4 日目は11月28日、穂高総合支所大会議室で開催され、136人が参加しました。

財政の安定を

意見 安曇野市の財政力を安定させるためには、税金を上げるのではなく、企業を誘致しての税収確保や雇用拡大を図ってほしい。

市長 増税は本当にさまざまなことをやった上でなければできない。合併をはじめ、さまざまな改革を行い、効率化を進めている。企業誘致も優良で安曇野の環境に負荷をかけない企業を誘致していきけるよう努めていきたい。

図書館建設

質問 旧穂高町で進めていた図書館の建設について、現在の状況を教えてください。

市長 穂高、豊科、三郷地域に交流施設を併設した図書館を建設することで計画が進んでいる。

教育長 施設検討委員会が2月にでき、以降17回の検討会議を重ねた。その結果、11月16日に報告書が提出された。穂高は中央図書館という位置付けでワシントングラウンド跡地へ建設となっている。これからは市として検討し、建設に向け進めていく段階。

学力の向上

質問 現在の学校週5日制から週6日制にして、国語、算数、ポランテアに関する授業などに取り組んでほしい。

教育長 週6日制は、公立の学校としては難しい。家庭の中で家族の一員としてどう生きていくかということも非常に大事な部分だと思う。学力向上については、県からの人数以上に、市でもかなりの人数の先生を現場に投入している。学校も努力している。そういう面では、ご理解をいただきたい。



その他の意見

1. 東西の道路
2. 本庁舎建設
3. 安曇野の自然・景観
4. 食育・生ごみ資源化
5. 南穂高児童館の事業
6. 子どもが発言できる場の提供
7. 障害を持つ子への対応
8. あいさつ
9. 農産物・流通・イベントなど

穂高 望月 昇さん

安曇野を世界遺産にしたいと発言しました。一番言いたかったのは、今後、市が建物や施設を造るとき、安曇野の自然・景観を守るためには統一した考え・ルールが必要だと思いますが、それをどうとらえているかということ。市長の考えが聞いて良かったと思います。



11/27

19:00~21:30

明科地域
参加者144人

